少年非行等の概況について 料

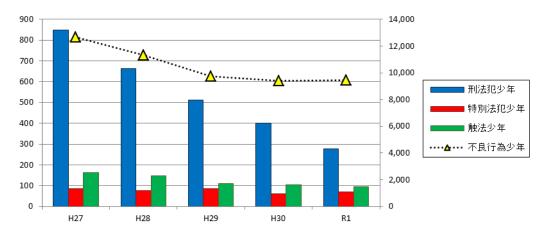
(令和元年中 確定値)

令和2年2月10日 生 活 安 全 部 ( 少 年 課 )

#### 1 少年非行の情勢

資

- 刑法犯少年は278人、前年と比較して124人(-30.8%)減少
- 特別法犯少年は71人、前年と比較して11人(+18.3%)増加
- 触法少年は96人、前年と比較して9人(-8.6%)減少
- 不良行為少年は9,455人、前年と比較して64人(+0.7%)**増加**



	1107	1100	H29	H30	Di	増減数	
	H27	H28	HZ9	Н30	R1		増減率
刑法犯少年	848	664	513	402	278	-124	-30.8%
特別法犯少年	86	75	85	60	71	11	18.3%
触法少年	162	147	109	105	96	-9	-8.6%
不良行為少年	12,667	11,338	9,731	9,391	9,455	64	0.7%

- 刑法犯少年・・・犯罪行為をした14歳以上20歳未満の者のうち、刑法犯で検挙された少年
- 〇 特別法犯少年・・・犯罪行為をした14歳以上20歳未満の者のうち、特別法犯で検挙された少年
- 触法少年・・・刑罰法令に触れる行為をした14歳未満の少年
- 不良行為少年・・・深夜はいかい、喫煙等で補導された少年

### 2 刑法犯少年

- (1) 罪種別検挙状況
  - 窃盗犯の検挙は151人で刑法犯少年全体の54.3%、前年から74人(-32.9%) **減少**
  - 知能犯の検挙は9人、前年から25人(-73.5%)減少
  - 風俗犯の検挙は10人、前年から7人(+233.3%)増加

		1107	1100	1100	1100	Di	増減数	
		H27	H28	H29	H30	R1		増減率
刑	法犯少年	848	664	513	402	278	-124	-30.8%
	凶悪犯	26	16	11	6	9	3	50.0%
	粗暴犯	165	118	85	83	54	-29	-34.9%
	窃盗犯	474	384	269	225	151	-74	-32.9%
	知能犯	26	18	33	34	9	-25	-73.5%
	風俗犯	7	9	11	3	10	7	233.3%
	その他	150	119	104	51	45	-6	-11.8%

- 〇 凶悪犯・・・殺人、強盗、強制性交等、放火等
- 〇 窃盗犯・・・万引き、自転車盗、侵入窃盗等
- 風俗犯・・・公然わいせつ、賭博等
- 粗暴犯…傷害、暴行、恐喝、脅迫等
- 知能犯・・・ニセ電話詐欺、横領等
- その他・・・占有離脱物横領、公務執行妨害等

(2) 刑法犯総検挙人員に占める刑法犯少年の割合 (構成比) 構成比は7.8%、前年と比較して1.7ポイント低下 刑法犯少年の人口比は1.7%、前年と比較して0.7ポイント低下

		1107	1100	H29	1120	D1	増減数	
		H27	H28		H30	R1		増減率
総相	食学人員	5,141	4,873	4,909	4,237	3,562	-675	-15.9%
	成人	4,293	4,209	4,396	3,835	3,284	-551	-14.4%
刑法	去犯少年	848	664	513	402	278	-124	-30.8%
	構成比	16.5%	13.6%	10.5%	9.5%	7.8%	▼1.7P	
成	人人口	2,412,268	2,406,074	2,401,376	2,396,035	2,390,282	-5,753	-0.2%
	人口比	1.8	1.7	1.8	1.6	1.4	<b>▼</b> 0.2P	
少	年人口	170,269	169,764	168,631	165,797	162,039	-3,758	-2.3%
	人口比	5.0	3.9	3.0	2.4	1.7	<b>▼</b> 0.7P	

注1: 表中の少年人口は、茨城県政策企画部統計課の推計人口(14~19歳)を用いた。(令和元年人口は10月1日時点のもの) 注2: 人口比は、同年齢層人口1,000人当たりにおける検挙人員の割合

(3) 学職別検挙状況

学職別では、高校生が124人で最多、刑法犯少年全体の44.6%

	学職別検挙状況【令和元年中 曹	哲定値】		無職少年 35人 (12.6%)
中学生 44人 (15.8%)	高校生 124人 (44.6%)		有職少年 64人 (23.0%)	
(15.8%)	他	の学生	(40.U%)	
		11人 4.0%)	総数	278人

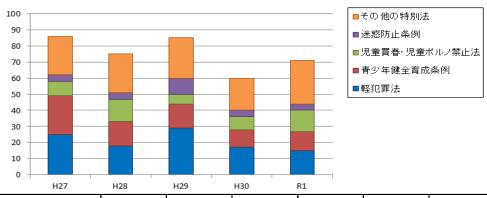
(4) 再犯者率

刑法犯少年の29.1%が再犯者、前年から2.0ポイント低下

		H27 H28		H29	H30	R1	増減数	
		П27	П20	п29	пзо	KI		増減率
刑	法犯少年	848	664	513	402	278	-124	-30.8%
	再犯者	321	283	195	125	81	-44	-35.2%
	再犯者率	37.9%	42.6%	38.0%	31.1%	29.1%	▼2.0P	

# 3 特別法犯少年

- (1) 法令別検挙状況
  - 軽犯罪法違反の検挙は15人で特別法犯少年全体の21.1%、前年から2人 (-11.8%) 減少
  - 児童買春・児童ポルノ禁止法違反の検挙は13人、前年から5人増加



	1107	H28	H29	1120	D1	増減数	
	H27	ПZО	П29	H30	R1		増減率
特別法犯少年	86	75	85	60	71	11	18.3%
軽犯罪法	25	18	29	17	15	-2	-11.8%
青少年健全育成条例	24	15	15	11	12	1	9.1%
児童買春・児童ポルノ禁止法	9	14	6	8	13	5	62.5%
迷惑防止条例	4	4	10	4	4	0	0.0%
その他の特別法	24	24	25	20	27	7	35.0%

#### (2) 薬物事犯

- 薬物事犯の検挙は14人、前年から2人(+16.7%)増加
- 覚せい剤取締法違反の検挙が5人(高校生1人、有職少年3人、無職少年1人)、 前年から2人(66.7%)増加

	1107	H28	H29	H30	R1	増減数	
	H27	П20		Н30	KI		増減率
薬物事犯	10	13	14	12	14	2	16.7%
覚せい剤取締法	8	6	7	3	5	2	66.7%
大麻取締法	2	7	7	8	6	-2	-25.0%
その他の薬物事犯	0	0	0	1	3	2	200.0%

## 4 福祉犯(少年の福祉を害する犯罪)

- (1) 検挙件数・検挙人員・被害少年
  - 検挙件数は151件、前年から28件(-15.6%)減少
  - 検挙人員は127人、前年から11人(-8.0%)減少
  - 被害少年は110人、前年から18人(-14.1%)減少

	1107	1100	H29	1100	D1	増減数	
	H27	H28	H29	H30	R1		増減率
検挙件数	170	181	144	179	151	-28	-15.6%
検挙人員	134	120	118	138	127	-11	-8.0%
被害少年	143	140	118	128	110	-18	-14.1%

- (2) 法令別福祉犯検挙件数・検挙人員・被害少年
  - 検挙件数は、児童買春・児童ポルノ禁止法違反の検挙が75件で最多
  - 検挙人員は、児童買春・児童ポルノ禁止法違反の検挙が58人で最多
  - 被害少年は、青少年健全育成条例にかかる被害が44人で最多
  - 未成年者喫煙禁止法の検挙人員は13人、前年から1人(+8.3%)増加

		H27	H28	H29	H30	R1	増え	减数
		П21	П20	ПΖЯ	ПЗО	ΚI		増減率
	検挙件数	47	82	48	83	75	-8	-9.6%
児童買春・ 児童ポルノ禁止法	検挙人員	34	40	29	63	58	-5	-7.9%
	被害少年	16	36	21	28	41	13	46.4%
	検挙件数	81	59	61	57	54	-3	-5.3%
青少年健全育成条例	検挙人員	71	54	57	48	46	-2	-4.2%
	被害少年	80	57	63	55	44	-11	-20.0%
	検挙件数	11	11	15	11	12	1	9.1%
未成年者喫煙禁止法	検挙人員	11	13	15	12	13	1	8.3%
	被害少年	11	11	14	11	12	1	9.1%
	検挙件数	31	29	20	28	10	-18	-64.3%
その他	検挙人員	18	13	17	15	10	-5	-33.3%
	被害少年	36	36	20	34	13	-21	-61.8%

- (3) SNSの利用に起因する福祉犯被害少年
  - SNSの利用に起因して福祉犯の被害にあった少年は34人、前年から5人 (+17.2%) **増加**
  - 福祉犯被害にあった少年の30.9%がSNSの利用に起因

	H27 H28		H29	H30	D1	増減数	
	HZ/	1120	1123	1130	R1		増減率
福祉犯被害少年数	143	140	118	128	110	-18	-14.1%
SNS利用に起因	27	33	22	29	34	5	17.2%
構成比	18.9%	23.6%	18.6%	22.7%	30.9%	△8.2P	-

○ SNSとは、LINE、Twitter、Facebook等の出会い系サイト以外のウェブサイト及びアプリをいう。